

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず

辻よし子

と歩む会

だれもが
心穏やかに
暮らせる社会を

無所属・ひとり会派「くさしぎ」

こんな思いで活動しています。

さらに大きな 風穴を、議会に！

まともな議論がされずに、数の力で決められていく今の政治。見た目ばかりが立派な議場で空疎な審議が続く……。そんな政治を変えたいと、市議会でのひとつひとつの審議に誠実に向き合い、事実に基づく道理に叶った議論をコツコツと積み重ねる努力を続けています。地味だけれど、成果は着実に上がっています。ナアナアの議会から、ピリリと緊張感のある議会へ。

さらに大きな風穴をあけていくために、頑張ります。

小さな声を集めて 政治の力へ

議員は利益団体の御用聞きではありません。みんなが暮らしやすい社会を創るにはどうしたらよいかを市民と一緒に考えるパートナーであり、情報収集や政策提案によって市民のアクションを支えるのが、議員の大切な役割です。

ひとりの困り事が、社会の問題と深くつながっていることが少なくありません。悩みを抱え込まずにみんなで共有できる寛容な社会を目指します。政党や組織のしがらみにとらわれず、共に一から考え、小さな声を集めて政治の力へと変えていきます。

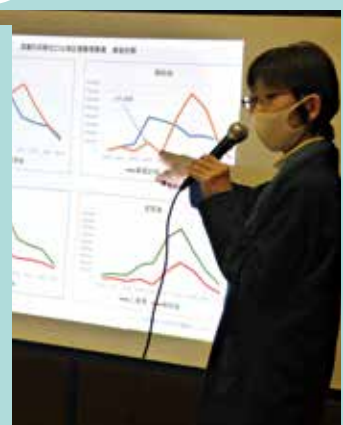
より積極的に、 より確実な支援を

コロナの影響が格差社会の拡大に追い打ちを掛けています。困った人が困ったと声を上げにくい社会、自分から声を上げないと支援が受けられない制度の中で、表には見えないまま、追い詰められている人たちがいます。たとえ自分がその立場になくても、そうした人たちがいることを考えると、心穏やかに暮らすことはできません。

役所で申し出を待つだけの申請主義から、現場に出て支援の声を掛けていくアウトリーチ型、プッシュ型の行政へ変わる必要があります。

これからも具体的に提案していきます。

伝える



多様性を認め合う 寛容な社会を目指して

性的少数者、障がい者、外国人等、多様性を認め合う社会へと少しずつ変わってきている一方で、残念ながら根強い差別や偏見が今も見られます。多様性を認め合う寛容な社会に向け、自治体としても積極的な発信が必要です。

様々な自治体が少数者に配慮した社会制度の整備に取り組んでいます。

あきる野市においても、当事者の声を聴きながら、制度の改善を図っていきたいと思います。それと共に、市民同士で少数者への理解を深めるための活動をおこなっていきます。



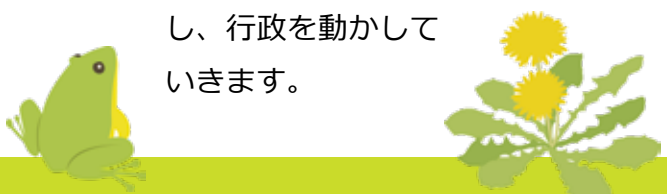
学び、 行動する



今この時が、子どもにとって かけがえのない時間だから

将来のために頑張ることも、もちろん大切ですが、子どもたちは未来のためだけに今を生活しているわけではありません。学校に行きたいと思っているのに行けない子ども、学校に行かないことを選択した子どもが、自分らしくのびのびと過ごせる場や、その親たちの交流する機会があきる野市では不足しています。先進地の実践に学びながら、子どもの居場所や保護者の交流の場づくりについて検討をすすめます。

また、家庭に困り事を抱えている子どもたちのサポートのあり方についても引き続き検討し、行政を動かしていきます。



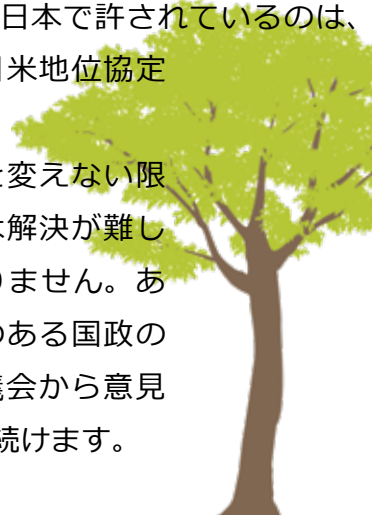
自然を守る



横田基地問題など、 市議会から国に意見を

あきる野市上空では、オスプレイをはじめとする米軍機が、当たり前のように夜間飛行や低空飛行を繰り返しています。住宅街での飛行訓練は大きな危険を伴うため、米国内では禁じられています。それが日本で許されているのは、不平等極まりない日米地位協定があるからです。

このように国政を変えない限り一自治体だけでは解決が難しい課題が少なくありません。あきる野市民に影響のある国政の問題について、市議会から意見書を上げる取り組みを続けます。



訴える



自分は60年近くずっとあきる野の自然を見続けてきました。2009年より始まった市の自然環境調査では、辻さんも一緒に活動し、その生き物調査の能力、熱意に驚くばかりでした。また、長年、子どもたちへの環境教育に熱心に取り組んでいることも知っています。議員になってからも、忙しい中、地域の自然の保全活動や調査を地道に続けてくれていて、本当に頭が下がる思いです。これからも、その知識と経験をあきる野市の宝である自然を守るために、活かして欲しいです。辻さんを応援します。

(浦野守雄・小中野在住)

3・11の震災をきっかけに、辻さんは「お任せ政治」からの脱却を掲げ、より良い市政のために尽力されてきました。印象的なのは、小さな声に耳を澄ます姿。暮らしに直結する決定が最善のものを問う議会での投げかけは、細やかな聞き取りと重ねた勉強に裏打ちされたものです。

市民の切実な訴えが粘り強く代弁され、市政に反映されるのを見て、議会がぐっと身近になりました。社会が大きく変化する今、多角的に物事を捉えられる辻さんが必要です。

(竹俣祐子・伊奈在住)

辻よし子と共に歩む市民の声

私は辻さんが議員になるまで市議会の存在は遠いものでしたが、辻さんの議会報告を通じて、議会の様子や市政の問題が見えてくるようになりました。賛否の分かれる駅前開発事業において、事業内容を丹念に調べて問題点を指摘し、少数派である反対住民の意見を聞いて議会で代弁し議論を重ねていく姿勢を見て、これが本来の民主主義、本当の「市民によりそう」政治だな、と思いました。グループに属さず本当の是々非々ができる辻さんに議員を続けてほしいです。

(岩崎亜希子・瀬戸岡在住)

辻さんは5年半余り、党派の縛りのない、市民目線に立った議員活動続け、行政の無駄や矛盾点を指摘し、市政の有り様を提案してきました。その一つの成果として、長期にわたり多額な費用をかけてきた下水道事業の見直しがされようとしています。しかしそれは、今までの議会が議会としての役割を十分果たしていなかったということではないでしょうか。思いやりと行動力のある辻さんは、あきる野市にとって本当に必要な方です。今後の活躍に期待します。

(森田武・草花在住)

辻よし子のプロフィール

1960年生まれ。大学で生物学を専攻し、環境問題に関わる。その後、教育学を学び、小学校教員を経た後、タイの農村教育にボランティアとして関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぼう会」を中心に、市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、新たに脱原発の市民活動を始める。2015年10月の市議会議員補欠選挙で初当選。現在2期目。

議会では、ひとり人会派「くさしぎ」として活動中。現在、夫と次男、ネコ1匹と草花に暮らす。

「辻よし子と歩む会」
共同代表：柏倉倫子・青木真知子
☎ 190-0154
あきる野市高尾 182-1 佐橋方
電話& FAX : 042-596-4569
e-mail : kusasigi@nifty.com

会員募集中！
年会費：1,000円（カンパ歓迎！）
郵便振替
加入者名 辻よし子と歩む会
口座番号
00140-9-430053

(討議資料)

